

3月は弥生とも言われます。弥生は「生命が活発になり、草木が芽吹き始める」ことを示す言葉からきています。毎日、子どもたちが生き生きと過ごし、常に意欲が芽吹いているふたばランドは、毎月が弥生ということですね。

「先生みてて」と縄跳びの回数を数えてもらったり、鉄棒にぶら下がってみたりと子どもたちは色々なことに取り組みます。たまに本気でオニごっこをするのですが、園児と甘くみていると大人は痛い目を見ます。子どものオニ役の中で、自然に指示役が表れ、作戦を伝達し合い、隊列を整え、気づけばタッチされていく。これが遊びで自然発生している。これが遊びで自然発生している。これが遊びで自然発生している。

楽しいことがある一方で、集団生活ゆえに、友だちとのトラブルが起きることもあります。ごめんねしたけどモヤモヤする、ちよっと気まずい、など子どもたちも感じています。人生の先輩でもある大人の役目は、全面的に気持ちを受け止めること、そして、そんなときどうするかを共に考えていくことだと思えます。いずれ来る、自分の力で伸びていくときのために。

保護者の皆様は仕事と子育ての両立本当に大変だと思えます。そんな中でも、温かい眼差しで沢山の愛情をお子さんを注いでいることは火を見るより明らかです。残り一ヶ月、皆様に肩を並べくらゐの愛情を注いで、活発な芽吹きに負けじと子どもたちと関わって参ります。

園長 梶原 秀一

今月の予定

保育参観 3/2(月)、4(水)~6(金)

各学年で日程を分けて保育参観を行います。子どもたちの成長を感じていただく機会となれば幸いです。詳しくは以前配布した手紙をご覧ください。

カレーライスの日 3/11(水)

今年度最後のカレーライスの日です。いつもと変わらず美味しいカレー、フルーチェ、サラダを作ります！ぞうグループ希望家庭は見学があります。

誕生会 3/12(木) 10:00~

3月生まれのみみな大変お待たせしました！今月でふたばランドのみんなが一つ大きくなりますよ。

お別れ遠足<5歳児のみ> 3/13(金)

5歳児ぞうグループだけの思い出作りを計画しています。詳しくは手紙を配布いたします。

おべんとうデー 3/13(金)

今年度のお弁当作り本当にありがとうございました。お家の方の愛情弁当は子どもたちの幸せを作っています！

お別れバイキング<5歳児のみ> 3/17(火)

ぞうグループが今までの感謝を伝えながら、給食職員と一緒にバイキング形式で給食を食べます。

たびだちの日 第19回卒園式 <5歳児のみ> 3/21(土)

第19回たびだちの日。年長児がふたばランドから旅立つ日です。年長児保護者の皆様には後日詳細をお伝えいたします。※この日は土曜日保育は行いませんのでご了承ください。

交通安全教室<5歳児のみ> 3/26(木)

最後の交通安全教室はぞうグループを対象に、「雨の日」の傘の差し方や歩き方などについてご指導いただきます。意外と盲点です。

☆お知らせ・★お願い

☆年度末~新年度開始について

令和7年度は3月31日(火)までとなります。最終登園日のお迎えの際には、お子さんの着替えケースの移動などクラスの引越しにご協力いただきます。次年度のクラスや引越しの仕方などの詳細は、後日手紙にてお知らせいたします。令和8年度は4月1日(水)から登園となります。週の途中での年度切り替えとなりますので、クラスのお間違いのないようお願いいたします。徐々に慣れていきましょう！

☆3/3の駐車場について

3/3(火)13時からは来年度新入園される方への説明会が本園で行われます。面談の状況によっては夕方まで掛かることも予想されており、駐車場の空きが少ないかもしれません。ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんがよろしく願いいたします。また、新入園家庭の皆さんにも「園舎周りの一方通行ルール」をお伝えしますが、逆走するご家庭もあるかと思っておりますので、ご注意ください。

☆第20回はじまりの日(令和8年度入園式)

新しくふたばっことして仲間入りされる皆さんの令和8年度入園式を4月4日(土)に行います。この日は土曜保育を行いませんので、予めご了承ください。

☆令和8年度保護者会総会

令和8年度の保護者会総会も書面決議でおこないます。4月以降に総会資料が出来上がり次第、各ご家庭に配布いたします。

★雨の日の置き傘について

雨の日の登園時から玄関の傘立てに傘が増えすぎてしまい、降園時に傘を置くスペースがないときがあります。傘立ての数に限りがあるため、登園時に使用された傘はそのままお持ち帰りいただきますようお願いいたします。

「我慢、自己コントロール」
園に着くと、すぐにF君が駆け寄って来て、「今日、一緒に給食食べよう」と言った。私の手を離さず、「絶対だよ!」と何度も念を押した。すると、私とF君が一緒にいるのを目ざとく見つけたN君がやって来て、「先生、オレと一緒に給食食べよう」と横やりを入れて来た。それを聞いていた、F君と同じクラスのスT君が「Nは、いつも園長先生を連れて行ってしまっじゃないか、いつも、いつも、ずるいぞ!」と割って入って来た。すると、N君が、うるさいとT君にパンチとケリをした。周りの子たちも「Nは悪い」と参戦。大バトルとなる。頃合いを見て、レフリーストップ。「殴ったり、蹴ったりは反則、暴力は弱い奴のやること。きちんと話し合うのが、強い子のやること」と一旦、止めにかかる。それでもN君はまだ、殴ったり蹴ったり、暴れた。私は、N君を強く抱き止め、落ち着かせた。「Nは先生と一緒に給食食べたんだよ。そう思ってくれてありがとう。でも、この前はTが先生と先に約束していたのにNが、オレと一緒に食べよう!」と言い出し、「Tが『じゃ、いいよ』と譲ってくれたじゃないか。Nが園長ゴリラ先生が大好きと思ってくれてうれし。先生もNが大好きだよ。だから、Nがみんなから、Nは悪い奴だと言われるのは嫌だ。お友達みんなと仲良くやって欲しい。」と言うと、いつもは人の言うことを聞かず暴れていたが黙って、下を向いた。「Nはもうすぐ一年生だ。最近でもしっかりして、先生の話を聞けるようになった。これなら一年生になっても大丈夫だ。じゃ、TとFのところに行って、殴ったり、蹴ったりしたことを謝ろう。そして、今日はTとFのクラスで、園長ゴリラと食べて」と言ってあげて」と言う

「Nは謝ることができた。自分をガマンして譲ることができた。すばらしい!」とハグすると、少しテレくさそうにして、みんなの方に走って行った。私もうれしくなった。▼人は人との間でしか人間にならない。人と関わりながら自分をつくる。人が一番大切なことは、コミュニケーション能力である。人を思いやることができること、人と関わる力が人生を豊かにする。子ども達は人とぶつかり合い、助けあい、一緒に遊ぶ中で、人としての生き方を学ぶ。前記したようなことは毎日あることである。それを丁寧に指導していくことで、人格の基礎が作られていく。▼スタンフォード大学の「マシユマロテスト」が話題になったことがある。我慢することは、自己コントロールができることであり、生きていくうえで、最も大切なことである。子どもが、ひっくり返ってダダをこねたり、我ママを言って大泣きすることがあるが、そんな時こそ成長のチャンス。頭から抑え込んだりせず、子どもの今ある状況を理解し、どうして、そうなるのかを考え、どうしたらよいか、ができることを伝える、きみはそれが切である。
※スタンフォードのマシユマロテストは、ホームページの理事長の話し、2015年5月をお読み下さい。
理事長 浅田 精利